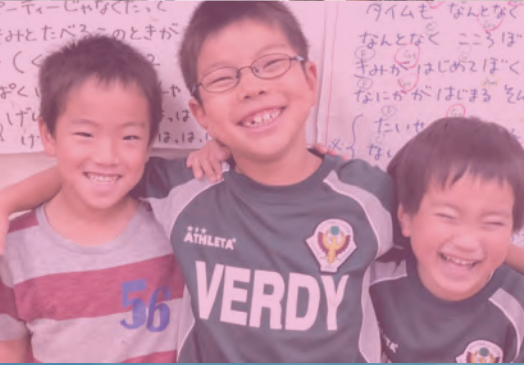




Chance For All 10周年記念誌



th Anniversary





団体設立 10 周年を 迎えて

20代の終わりに、東京の片隅で仲間と共に始めた小さな取り組みが、今や多くの方々と共に10年目を迎えることに、深い感慨を抱いています。

CFAの立ち上げから現在に至るまで、私たちは数えきれないほどの困難に直面しました。その度に「これ以上は無理かもしれない」と諦めかけましたが、私たちを支え、励ましてくれたのは、共に歩む仲間や、私たちの使命に共感し、応援してくれる保護者や支援者の皆さんでした。そしてなによりも、いつも心の支えになっていたのは毎日と共に過ごす子どもたちの笑顔でした。

この10年間、私たちはひたすら現場で奮闘し、走り続けてきました。CFAの歴史を振り返ると、これまでの道のりはまさに奇跡の連続です。しかし、この10年という節目はゴールではなく新たな挑戦へのスタートです。新しい10年に向けて、皆さんと共に新たな未来を切り開けることを心から楽しみにしています。

特定非営利活動法人
Chance For All
代表理事 中山勇魚



写真で
振り返る



10年

3人の創業メンバーと5人の子どもたちからスタート

Start!

準備期間を経て、
「日本一の学童をつくる!」と
意気込んで始めたものの
ふたを開けたら、
集まった子どもは5人

ふっきれて
“子どものために”に
フォーカス



CFAKids
第1号となる
梅島校の立ち上げ



保護者の口コミによって、翌年には子どもたちがたくさん来てくれるように。そのあとからこれまで、CFAKidsは口コミだけで、子どもたちが通ってきてくれています



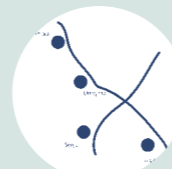
保護者のみなさんに支えられた10年でした



To be continued...

恒例のCFATシャツ。大切にしていることを刻んでいます

2018年



校舎の星座

2019年



あそびこそ
さいこうのまなび

2019年



5周年記念
Tシャツ

2020年



放課後は子どもが
子どもでいられる時間

2021年



Be unique!

2022年



幸福なくして
教育なし

2023年



自分の人生を
生きる

変わらずに大切にしてきたもの

あそびこそ さいごうの まなび

わくわく 体験が 人を育てる

企業のみなさんからもたくさんサポートいただきました



SONY 遠足



フィットコーポレーションによるハンドソープづくり



キッズニア遠足



起業家遠足

自分たちのくらしは 自分たちでつくる

つながりが 力になる

CFAKids 校舎予算を
こどもたちが管理する

こども経理部



CFAKids 全体の運営方針を
決める各校舎の代表

運営委員



普段は校舎が
離れているので、
Zoom や
Slack でやりとり



2022年3月
運営委員たちが
企画した遠足へ!



CFA 本部のある
関三通り商店街と
「子育て商店街」
プロジェクトスタート!

地域での
お祭りに数々参加

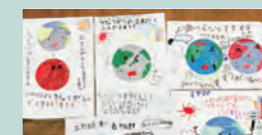


2020年コロナ禍 過去に経験のない大変なときもまっすぐにこどものことを考え続けました

一斉休校2日後に
始めた
オンライン学童



しゃかチャレ
～社会課題にチャレンジ～



5年級グループもあじからにも参加しました。
関三通り商店街と「子育て商店街」プロジェクトでは、
5年級グループが「しゃかチャレ」を行いました。
お祭りで学童の目印になるようにしゃかチャレの旗、
3700円のお金を集めました。
お祭りで学童の目印になるようにしゃかチャレの旗、
3700円のお金を集めました。
お祭りで学童の目印になるようにしゃかチャレの旗、
3700円のお金を集めました。



教室外の学びがすべて止まってしまったこどもたちへ。リディラバと共同で実施した、社会課題解決のアクションまで考えるプロジェクト。

活動の広がり、理念の実現に向けて

大きな転機となった 駄菓子屋 irodori の立ち上げ



▶ 2021年7月17日、夏休み前にオープン!

▶ 365名の方から422万円ものご支援をいただきました



あそび大学 すみだの素材で自由にあそぼう!

千葉大学、SSK、Seki Design Lab.と共同して、「あそび大学」スタート!

町工場の多い墨田区の素材(=「すみだから」と命名)をこどもたちの自由な遊びの素材に。



夏休みには、「夏のあそび大学」を開催! 2023年度には約1500人ものごどもが参加。



◀ 墨田区長も視察に。



学生のボランティアチームは現在83名に

飯村くんひとりから始まった活動が大きく広がっています。パークリーダー事業・感情図書館事業と、新事業2つを立ち上げ中!



結—むすびめ—



▲ “孤”育ての力になることをめざしてフリーペーパー発行



▲ 墨田区統一地方選、足立区長選では、候補者に子育て政策についてヒアリングを実施し、リリースにまとめました

CFAKids チーム



CFAKidsの校舎でも学生ボランティアが活躍。



どんどん活動の幅を広げています!

こどもたちの声を集めた「小学生の放課後 well-being レポート」発行



レストラン事業 立ち上げ中!



日本放課後学会の立ち上げ

業界横断で、こどもたちのよりよい放課後のあり方を理論と実践の両面から科学することをめざします。代表の中山は副会長に就任。



代表の中山が日本一周!



SSK さんと日本一周して全国のこどもたちへ遊び場を届けました



職員の研修は、学童・保育の枠を超えて実施

こどもの声から振り返る10年



はるまきくん

Q CFAに入ったきっかけと思い出

めぐみさん（以下「めぐみ」）：保育園でもらったチラシがきっかけ。学童なのに田植えや稲刈りがあるってすごい!と思った。家の近くの学童とCFAに両方見学に行って、本人が希望したので、CFAに入ることに。

はるまきくん（以下「はるまき」）：小さすぎて覚えてない（笑）けど、風越に入るのも自分で選んだし、CFAがいいって言ったかも。

—CFAKidsはどんな場所だった？

はるまき：とにかくおもしろかった。おもしろいことばかりやってた。普通の遊びも、それ以外でもいきなりマレーシアの人たちがやってきて一緒にごはん食べたり、落語家さんと落語をしたり、遠足に行ったり、河川敷でロケット飛ばしたり。ロケットは、想像以上に飛んでいってビックリした!

めぐみ：館山の1週間キャンプが一番印象的。小学校3年生が1週間もホームステイ行ってきたのに帰ってきてすぐ「もっと長くてよかった」と言っていた（笑）今の新しい環境に飛び込むことも平気だと思えるきっかけになったのでは。

—はるまきくんは、今の生活はどう？

はるまき：今の生活も楽しい。いろんな人に会えて、いろんな経験ができて。教科書を開くだけじゃない学びがある。

めぐみ：風越は異年齢のクラスで、みんなでホームルームとかをやったりするんだけど、なぜかはるまきの周りには小さい子たちがたくさん集まってくる。CFAでは、マレーシアの人たちがいきなり遊びに来たり、キャンプで知らない人たちと出会ったり、世界に興味を抱かせてくれる機会がいっぱいあって、それでこんな子に育ったのかな?（笑）

—お母さんははるまきくんに将来どうなってほしいと思っていますか？

めぐみ：本人が生きたいように生きてほしい。とにかくいろんな人に会って、いろんな世界を見てほしい。教科教育に興味がないので、絶賛卒業後の修行先を探し中!社会に飛び出て、魅力的な人のところで修行して、本人が興味が出たら大検を取って大学に行ってもいい。

CFAKids 西新井校第一期生!

自分がやりたいことを追求中! 中山と藤場が会いに行ってきました!

Voice 1

はるまきくんPROFILE 小学校卒業後家族で長野に移住し、全国的にも注目されている新しい教育を行う学校である軽井沢風越学園に通う9年生(中学3年生)。学校には黒板がなく、教室も決まっていない。自分で問いを立てて考えたり、創作活動をしたり、一人ひとりが学びたいことを追求しながら過ごしている。

めぐみさんPROFILE 地域に根ざしたラジオ局と診療所で働く。木々に囲まれ自然を感じながら過ごす。地域活動にも活発に取り組んでいる。

—はるまきくんの将来の夢は？

はるまき：将来の夢はまだ決まっていない。もうすぐ中学校も卒業するけど、進学したいピンとくる高校が見つからない。将来やってみたくては言えないけど、今は動画の編集をやりたいと思っている。でも、今持っているパソコンはスペックが低いし、学校のパソコンも勝手にソフトを入れられない。誰かのお下がりだと古くてスペックが期待できない…。かと言って、親も買ってくれないし?（めぐみさんの方を見る）

めぐみ：勇魚さんもふじばっちも自分でCFAを立ち上げたんだから、そういう時にどうしたらいいか聞いてみたら?

中山：CFAも立ち上げ当初はお金がなかったのだから、家具も買えなかった。リサイクル家具をもらいに行き墨田区から足立区までリヤカーで運んだことも。できないと諦めないで、自分にできることは何かないか考えないとやりたいことはできない。

めぐみ：あの頃は本当にお金がなさそうで、勇魚さんもふじばっちも人生かけて大丈夫かな?って心配になるくらいだった。でも、もう10年経っているから。はるまきも自分にできることから始めてみたら?

（というところから、みんなでおもしろくなってプレストが始まり…話すうちに夢が広がり、クラウドファンディングに挑戦して自分のやりたいことを実現しちゃおうという話に…!）日本中の人に会い、動画を作りながら旅する、名付けて「ハルマキプロジェクト」。もし本当にクラウドファンディングが始まったら、ぜひ応援してあげてください!

—最後に一言お願いします。

はるまき：CFAはおもしろい思い出しかない。風越もおもしろいからCFAのみんな、風越において!自分は楽しいこと、やりたいことをやりながら仕事にして生きていきたい。

めぐみ：学び方は無限大。可能性も無限大。未来は明るいと思ってる。



ゆいなちゃん

CFAKids 一期生!

高校生になった現在は、 CFAKidsでボランティア中

Voice 2

PROFILE 実は小学生の頃から祖母の影響を受けて茶道をしていて、中学校・高校では茶道部に入部。高校卒業後も茶道は続けてもいいかなと思っているところ。化学や物理がおもしろいと思っていて、近々ある文理選択で、理系には進もうと思っている。これからは、ゆっくり考え決めていきたいなと思案中。

Q CFAKidsの思い出

小学校の振替休日で馬場先生と中山先生と一緒に3人で舎人公園に行ったことです。今思い返すと変な組み合わせだから、側から見たら誘拐犯に思われたかもしれない…。あの頃はいろんな場所に遊びに行った気がするなあ。清水公園の水のアスレチックに落ちて大泣きしたなあ。（笑）あの頃は人数が少なかったけど、今は30人とかいるのを見るとすごく増えたなって感じています。普段の校舎の中で何をして遊んでいたか、あんまり覚えてないかも…。もう10年も前のことだし。ケンカはいっぱいした気がする（笑）。ボランティアとしてCFAKidsの校舎に行くと、当時のあったおもちゃが今もまだあるのを見ると、懐かしいなって思います。

Q これからのCFAへ

CFAKidsのボランティア説明会に参加したとき、事業の説明を聞いて、当時は何にも考えてなかったけど、こんなことを考えてくれてたんだと知らなかった部分を知れました。CFAでのボランティア活動は、楽しいと思うしできる限り続けていけたらなと思っています。自分にとって楽しい場所だったから、今通っている子もこれから通う子にとっても楽しい場所であってほしいなと思っています。



▲小学1年生の
ゆいなちゃん

Voice 3

CFAKidsを卒業して、現在中学生。 2023年「なつのおそび大学」に ボランティア参加!

PROFILE 中学校ではバスケ部に所属。リーダーの学年として頑張るところ。勉強面では、将来のために英語をがんばっている。自分も世界中を回って、人を助けたり、支えたりするような活動に憧れがある。2023年の夏、墨田区で1週間開催した「なつのおそび大学」にボランティアとして参加し、運営スタッフとして活躍。クラフト製作のサポートをする役割を担当したが、普段小学生の子と接するのは妹くらいなので、新鮮で楽しかった!

【ちゃん



Q CFAKidsの思い出

夏のキャンプです。キャンプで初めて会った子と、ずっと一緒にいて友だちになれたことが思い出です。魚さばいたり、水遊びしたりしたのも印象的。肝試しがあったけど、怖くて待っていたことも覚えています。（笑）

Q これからのCFAへ

学校では、30人に先生が1人で、わからないことを自分から聞けるタイプじゃなかったから、聞けないことも多かったです。でも、CFAKidsは少し違う感じがしていて。話を聞いてもらえたり、聞ける環境だったと感じています。妹が今小学生で、学校では、聞いてもわからず、なかなか苦戦しているところもあるみたいで…。CFAKidsに通う子たちにとって、寄り添ってもらえたり、自分から行動できたり、支えてもらえる場であってほしいなと思います。



▲小学1年生の
【ちゃん

創業メンバーが振り返る10年

3人の大人と5人のこどもで始まったCFA。
代表の中山とともに立ち上げた、藤場と馬場に、10年間を振り返って、この10年間変わらず
大切にしてきたこと、これからのCFAへの想いを語ってもらいました。



藤場

馬場

TOPIC 1 変わらずに大切にしてきたこと

—10年を迎えてどんな気持ちですか？

馬場：あつという間！すぐ年とっちゃったなという感じです。もうア
ラフォーで、気づけば30代はCFA一色だったなあ。1期生
がボランティアとして来てくれていることにびっくりしてい
る。(笑)

藤場：10年…私は、一言では言えない、表現できない。CFAを創
業したことで、自分は生き方とかあり方が変わったなと思っ
ていて…。CFAを創業していなかったら、普通に会社に行っ
て、上司の愚痴を言って、女子会をして…という人生だった
かもしれない。そう考えると、仕事ではなく、CFAは自分の
生き方そのもの。責任もあるけど、好きなこともたくさんや
らせてもらってきたと思う。

—10年間で印象に残っていることはどんなことですか？

馬場：立ち上げのときはとにかくお金がなくて、必死だった。家賃
が低いところをめちゃくちゃ探したり、運営後に夜中にチラ
ンを6万枚まいたり。だから、初めてCFAでお給料をもらっ
たときはものすごくうれしかったのを覚えている。

藤場：初めてのお給料は、現金で封筒に入っていて。私まだ手が
つけられなくて、とってある。

最初は、カネも、知識も、縁もなくて、自分たちで動くしか
なかったよね。学童という仕事もよく知らなかった。

馬場：だから、CFA以外の学童でそれぞれ働いていたよね。

藤場：ほかのところで働いてみて、学ぶことがたくさんあった。そ
の中で、送迎はやめようってなったよね。

馬場：そうそう。送迎の時間って子どもたちがめちゃくちゃつま
らなそうだったから。

藤場：当時、民間学童では送迎は当たり前だったけど、毎日こども
たちのことを考えられる学童でありたいよねって話をしてい
たよね。

馬場：当時週1回、居酒屋に集まって朝まで飲んで話してたね。
最後は、中山くんとえみちゃんがケンカするっていう。笑

藤場：2年目のときに外部の方との打ち上げのときに、CFAの職
員が学童保育の話ばかりしているね、こんなに楽しそう
に仕事のことを話しているのっていいですね、って言われ
たな。

1年目のとき、当時は大人3人にこども5人だったので、しっ
かり大人の目が行き届くこともあって、今みたいに夕焼け
チャイムで帰ってなかったんですね。ある日、「夕焼けチャ
イムで帰らないと、学校で注意されて
しまう」とこどもからの意見があって。
それから、CFAで過ごす以外の時間
や、こどもがCFAを卒業したあとも、
安全に、自立して過ごせるようにと考
えるようになったな。規模や状
況が変化しているから、や
り方が変わってきているこ
とはあるけど、大切にしてい
ることは創業のときから
変わっていないと思う。



TOPIC 2 これからのCFAへの想い

—これからのCFAへの想いを教えてください。

藤場：これまで関わってくれた人と関わりを持ち続けていきたく
いと思う。中学生の居場所づくりがしたいというよりは、関わり
たいと思ったときに関われる窓口や、とっかかりになれる
ものを増やせたらいいと思う。

馬場：基本的にはそういうことなのかな。これまで出会った人の
ことを思い出すと、その人たちが関わることでできる場所が
ないといけないと思う。

この前、大人になったときに、ふと小学校に帰りたくなる
という記事を読んで、それがCFAであればいいと思う。関
わってくれた人が、ふと思い出したときに場所があることが
大事で、あり続けることが大事なかなと思っています。

藤場：あとは、20歳になった卒業生の子たちと飲みに行きたい！
2世、3世の子がCFAに来てくれたらうれしいなあ。CFAが
あり続けることで、循環となっていったらいいと思う。

自分は現場にいるかはわからないけれど、コミットはしてい
きたいと思っている。

馬場：現場にいるかはわからないよね。笑

藤場：ばばくんは会長的な存在になっていたりして。笑。現場に
行ったら「あ、会長来たよ！」「知らない！？」と言われるような伝説的な存
在になっているかも。笑

馬場：笑。



職員の声で振り返る10年

10年を振り返って印象に残っていること、感じていること

- 子どもたちがやりたいことをしていい、やらなくてもいい、をコンセプトにしている学童があるのかと、初めて関わった時に衝撃を覚えたことを今でも忘れません。
- 学童の運営のみならず、特にこの4、5年でLFY、駄菓子屋irodori、あそび大学とより多様なこどもたちの居場所を作り、Chance For Allという名をより体で表す団体になった！
- キザニアを貸し切って行った5周年パーティーです。大人もこどもも「キザニア貸し切り〜！」と喜んでいたので覚えています！
- 西新井校の建設工事が間に合わず、1ヶ月隣のマンションの部屋を借りて観察していたこと
- 8年前のある日、夕食を食べていた子がこの味好きだよ〜と伝えてくれた一言。あっさり味の煮物を褒めてくれたことが嬉しく、おやつや食事は愛情表現と考え、より一層丁寧に作るようになりました。
- 設立当初は、通う子どもの数より職員の方が多かったと聞き、CFAKidsの成長を感じた。CFAKidsに通うことを毎日楽しみにしている子どもたちがいること。
- CFAと一緒に過ごした子が、年月を重ねて今ボランティアとしてCFAで活躍していること。それだけ継続できたこと、地域で活動してきてよかったなと感じました。
- 子どもたちと過ごした日常からイベントまでどれも素敵な思い出です！小さかったみんなが大きく遅く成長し、巣立っていく姿はいつ思い出しても感動もので印象的です。



今後に向けて

- 保護者の皆様やCFAに関わってくださった方々のご協力、そしてこどもたちの存在あつての10周年だと感じています。今までもこれからも、こどもたちのために歩んでいければと思います。こどもたちや保護者の方々はもちろん、CFAに関わる全ての方の幸せに向かっていければ素敵だなと思います！
- コロナが落ち着いたので、全校舎集まるイベントとか、お出かけするイベントとかが増えるといいなと思います。多くの方との関わりがこどもたちの今も将来も豊かにするのではないかと考えています。
- 長いようで、アツという間の10年。毎年進化を重ね、日々アップデートしてるCFA！CFAの活躍がどんどん世の中に広がって、こどもたちにとって素敵な放課後生活を送れる世界になりますように！これからも新しいことにどんどん挑戦し、こどもたちにとって大切な放課後の時間を作り上げていきましょう！
- より多くのこどもたち、ひいては関わる人たちの居場所であり続けて欲しいと思うと同時に、常に目の前のこどもの幸せのために、活動し続けることができる存在であって欲しいです。私もそのために日々精一杯頑張ります。
- 自分が中学生の時に、誕生したんですね。この10年の間に、こどもたちを取り囲む環境や社会課題にも変化がありました。まだまだCFAにやれることは沢山あるのだろうと感じています。もっと！ビッグに！行こうぜ！
- 記念すべき年にCFAの一員でいられていること、心から誇りに思います。次の10年に向けて、これからも一緒に歩いていきたいです！これからもこどもたちの居場所であり続けること。卒業してからも、そして地域の人たちにとっても保護者にとっても、職員にとっても。関わった人全てにとって、いつでも帰って来れる居場所であってほしいと思っています。
- 10年という年月、あつという間に過ぎ去りました。たくさんの子供たちや保護者の皆さん、地域や関係機関の皆さんと出会い、しまいきれない思い出をつくることができました。全てに感謝。こどもの放課後の課題の解決とともに、こどもの成長に携わる大人(職員)の資質の向上は不可欠。「あそびこそさいこうのまなび」など、CFAが大切にしていることがより多くの人に伝わりますように。
- あたり前だけだがかけがえない毎日。その中でCFAはその子のいいところもわるいところもひっくり返って受け止め、ともに歩んでいく。こどもの素直さ、かわいさがあふれてくるのが最高です！初めてCFAに出会った時から、軸はブレずに、でも常に新しいことに挑戦し続けて輝き続けていることがCFAの魅力。これからも未来を見据えながら目の前のこども一人ひとりの人生を大切にしていきたいです。
- CFAに入社して7年、あつという間に年月が過ぎたことを感じます。今後も応援して下さるたくさんの方々力を借りながらこどもたちのためにみんなで頑張っていけたらと思います。

10周年を迎えたCFAがめざすこと

10年間子どもたちと過ごす中で、VISIONやMISSION、VALUEを見直しました。
これからは「子どもたちのために」というまっすぐな想いはそのままに、目指す社会の実現に進んでいきます。

VISION 実現したい未来

生まれ育った家庭や環境に関わらず、だれもが幸せに生きていける社会の実現

人は生まれながらにして、みんなそれぞれちがうもの。得意なことや不得意なこと、容姿や特性など、本人のことはもちろん、家庭の状況や国籍など、本人を取り巻く環境も違っているのが当たり前で、自然なこと。
私たちが大切だと考えているのは、誰もがそうした違いはあるものとして受け入れたいうえで、それでも誰もが幸せに生きていけること。違いで困っているときや苦しんでいるときには、少しでも良い方向に向かうことができるよう、一人ひとりに寄り添っていきます。

MISSION 私たちの使命

個別課題解決

「社会課題解決」では、「子どもの貧困」「虐待」「いじめ」「不登校」など、課題ごとに切り分けて、その課題にあてはまる子どもたちを想定してアプローチすることが一般的です。
一方で、子どもたちが抱える課題は複数の課題が複雑に絡み合っていることも多く、課題からアプローチしても解決できないケースもたくさんあります。私たちは「社会課題」を解決するのではなく、「個別課題」の解決を目指します。それは、目の前の子どもたちやそのご家族、それぞれの困り事に寄り添うことです。私たちCFA だけでは解決がむずかしいので、学校や行政、専門機関など多くの大人とつながりながら、子どもたちを見守っていきたくと考えています。

社会課題予防

私たちは「崖から落ちてから支援するのではなく、崖の手前で助けたい」とよく表現します。困難な状況に陥ってしまったら、本人も大変ですし、支援する側としてもなかなか成果が出にくく辛い思いをすることもあってはいませんか。困難な状況に陥ってから手を差し伸べるのではなくて、実際に困るその前に、それぞれの困りごとを未然に防ぐことができるように働きかけていきます。

未来創造

変化が大きく予測できないこれからの時代を生きていく子どもたち。これからの未来をつくるのは、ほかでもない子どもたちです。大人が良いと判断したものを、大人がプログラム化して子どもに提供するのではなく、子どもたちと一緒に対話しながら作っていく活動を大切にしています。それが結果的に新しい社会を作っていくことにつながっていくのだと考えています。



VALUE 大切にしている価値観

幸福なくして教育なし

子どもたちは今、幸せを感じているからこそ将来のためにがんばることができます。今も将来もずっとしあわせに生きていってほしい。それがわたしたちの願いです。

いるだけでいい場所

居場所とは居るだけでいい場所です。学校生活をがんばる子どもたちにとって安心できる基地。自分らしくのびのびと過ごせる場所。私たちが作る居場所は、そんな場所でありたいと考えています。

あそびこそさいごのまなび

友達とお腹が痛くなるほど笑ったり、時間を忘れて真剣に取り組んだり、時にケンカして泣いたり、仲直りして喜んだり。放課後には喜怒哀楽のすべてがあります。自由なあそびの中で子どもたちは人生に大切なことを学んでいきます。

自分たちのくらしは自分たちでつくる

子どもたちには、自分たちのことを自分たちで決めて、成功も失敗も経験しながら成長してほしいと願っています。自分の人生を自分でよくしていく。変化の多い時代に生きていく子どもたちには必須の姿勢です。

ワクワク 体験が人を育てる

楽しかったこと、大変だったこと、失敗したこと、仲間と協力して乗り越えたこと…わたしたちは人生にとって大切なことはすべて教育の外で学んできました。いつの時代の子どもたちにも、体験からの学びを大切に保障したいと考えています。

つながりが力になる

個人だけ、CFAだけでは解決できないこともたくさんあります。保護者のみなさん、地域の方や学校、専門機関など、たくさんの大人とみんなで一緒に子どもたちの成長を見守ることができる社会を実現したいと考えています。

ごちゃまぜで過ごす

私たちは、家庭の経済状況も、特性も、発達も、国籍も関係なく、すべての子どもにとって開かれた、ごちゃまぜの居場所をつくっています。ごちゃまぜだからこそ、互いに学び合い、気づき合うことができるのです。

Be unique!

Uniqueは「個性的な」という意味でとらえられがちですが、そうではなく「ただひとつだけの、唯一(無二)」という意味です。唯一無二の存在である一人ひとりの「そのらしさ」を大切に育んでいきたいと考えています。

これからのCFAへ

CFAKidsのこどもたちから、これからのCFAへのメッセージを集めました。

この先もこどもたちの声にまっすぐに向き合っていきます。

みんなでレゴたいかいをしたい。

今のCFAは私にとっては楽しいところですが、中には楽しくないと思っている人もいるかもしれないのでそのまましておかずみんなが楽しいと思えるCFAをつくっていきたくです。

えがおがいつも多いCFAにしたい。おめでとう、10才

えんそくでUSJに行きたい。キャンプでレゴランドに行きたい。

私はCFAをみんなが「居心地がいいな」と思えるような場所にしたいです。でも私はもう叶っていると思います。実際、私はとても楽しい+居心地がとってもいいからです。こんなCFAがずっと続くといいです。

みんながもっとハッピーになるには、友達を増やしたり、譲り合ったり親切にしたりするCFAにしたい。

CFA10 さい、おめでとう!!もういっかいえのものとうえんにいきたい!!!!!!

CFA10 しゅうねんおめでとう。あねもがどうにかよっていました。いつかCFAが50しゅうねんになるといいです

みんなが楽しくすごせるCFAにしたいCFAおめでとう 10才!

わたしは、いっぱいみんなとあそんでさいごうなCFAにしたいので、これからもいっぱいいたのしんでいきたくです

ぜんこうしゃで野きゅうたいかいをしたいです。

もっと他の校舎の人と会う機会が増えたら楽しいと思います。いつもありがとうございます。

みんながハッピーになるためには、ボランティアを増やしたり、本を増やしたり、イベントを増やしたりして欲しい。

保護者の方、支援者の方からのメッセージ

- 創業メンバーとその理解者がさまざまな苦労を重ねながらも、設立に向けて寝食を忘れて語りあった姿が記憶に残る。学童保育の固定概念を大きく変え、新しい可能性を切り拓くCFAに今後も期待しています。日本社会そのものを変革する使命と役割を担い、チャレンジを続けるNPOであり続けてください。子どもたちとスタッフのこれからの光あれ!!(馬場周一郎さん)
- 小一の壁を乗り越えてさらに求める以上の場を提供してくれたCFAは子供達にも保護者にも感謝の気持ちしかありません!更に子供達に寄り添って邁進してください!(T.Kさん)
- 10周年おめでとうございます。進化を続けるCFAとともに、より良い教育環境づくりに貢献したいと思えます。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。(西尾 仁美さん)
- 進化系学童として、日々子供たちと向き合い、心と体の成長を促して下さりありがとうございます。地域との関わりや保護者への手厚いフォローや励ましもあり、親子ともどもお世話になっています。これからもよろしくお願いします。(N.Yさん)
- いつもこどもたちを見守っていただきありがとうございます。こどもたちが活き活きと過ごせるのも、保護者が安心して預けられるのも、惜しみな

く力を注いでくださるスタッフの方々のおかげです。すばらしいスタッフの方々これからも長くこどもたちに関わってくださいよう願っています。(A.Hさん)

- 10年間子供達に寄り添ってくれてありがとうございます! 娘が不登校になった際も学校の先生以上に親身に相談にのって下さり、学校以外の居場所があることの有り難さを痛感しました。これからも宜しくお願いします!(A.Sさん)
- 10周年おめでとうございます。子どもの関わりで、重要さを増していると思えます。今後の活動、期待しています。(吉村知幸さん)
- 10周年おめでとうございます。子供達がCFAを大好きなのは、いつも先生方が子供達のことを考えて親身に接して下さるからです。感謝の気持ちでいっぱいです。これからも微力ながら保護者として協力できればと考えております。(K.Tさん)
- 10周年おめでとうございます。子どもたちの居場所をありがとうございます。学童や小学校を卒業しても、また戻れる場所であり続けていただきたいです。(太田寿子さん)
- 10周年おめでとうございます。いつも、子どもたちのことを一番に考えてくれて、新しいことにチャレンジさせてくれてありがとうございます。この先も、子どもたちの味方でいてください。(A.Mさん)
- 「安全に・安心して」放課後を過ごすことができているだけでなく、子ども

の成長に繋がる機会を日々の生活の中で設けていただいていると感じています。今後も、子どもにとって、かけがえのない場であり続けて頂ければとてもありがたいです。(Y.Sさん)

- これからも仲間とともに外遊びや自然と触れ合う機会を設けてもらうことに期待、中学年高学年の子の活動に今後も期待。(T.Oさん)
- 2018年~2020年までの夏、冬、春休みの給食とおやつ作りを主にさせて頂きました。子供たちには配膳はもちろん、調理のお手伝いも沢山してもらいました。「おかわり」の行列は担当としてとても励みになりました。また、食べる時に「隣に座って~」なんて言われるとキュンキュンものでした♡とにかく、先生方が素晴らしい! 一緒にお仕事できた事を光榮に思います。先生方のチーム力で20年、30年とずっとずっと存在してほしいです。(山下泉さん)
- わが子もCFAが大好きです♡今後とも、よろしく願います(*´▽`*) また、職員の皆様には大変お世話になり、母子ともに職員の皆様がかげがえのない存在です(*´▽`*)♡いつもありがとうございます◇*(M.Nさん)
- いつもあたたかく、子供を優しく見守ってくれる先生方に本当に感謝しています。長女も次女もCFAがあって、先生方がいてくれたおかげで楽しい小学校生活を送っています。これからも宜しくお願いします!!これからもCFAらしさを続けてください!(M.Mさん)
- CFAさんと出会ってからまだ3年ほどですが、2度のキャンプをご一緒して、リーダーの皆さんの高い熱量に驚きました。ここまで一生懸命に、子

どもたちの事を考えられるのが素晴らしいです。10年継続して事業を拡大された事、素晴らしいと思います。苦労など、多くあったと思いますが、たくさんの仲間がいたからこそ、一緒に乗り越えられたのではないかと思います。そんなCFAさんを微力ながらこれからもサポートさせていただきます。(藤代國忠さん)

- 小学校に入学し、家庭以外の安心できる場、居場所ができました。その安全基地があるから、乗り越えられたことが沢山ありました。自由に自分を表現し、新たな面に沢山気づくようになりました。10周年おめでとうございます!(I.Oさんのお母さん)
- 10周年おめでとうございます。2017年よりお世話になっており、どんどん充実した内容に進化されていると感じます。いつも子どもたちのことを第一に、さまざまな取り組みをありがとうございます。(Y.Iさん)
- 10周年、おめでとうございます!これからも全ての子ども達がチャンスを得られる場所を創り続けていきたいです。私たちもずっと応援していきます。全ての子ども達に安心な居場所を提供できること、たくさんの経験の機会を創れること、親も学び続けられる場であること。期待しておりますし、子どもがCFAを巣立っても、親子でサポーターとして関わっていきたくと思っています。(Y.Mさん)

これからもご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

あなたに合った方法でぜひご参加ください。

「生まれ育った家庭や環境に関わらず、だれもが幸せに生きていける社会の実現」をがいっしょに。

私たちCFAだけでは、めざす社会の実現はとてもしえませんが、ぜひみなさんといっしょにめざす社会を作っていきたいと考えておりますので、みなさんそれぞれに合った方法で私たちの活動にご参加いただけるとうれしいです。

寄付で支援する

継続して寄付する
(マンスリーサポーター)



今回のみ寄付する

お好きな金額で寄付いただけます。



物品寄付で支援する

学童保育CFAKidsや駄菓子屋irodoriで活用するこどものおもちゃや本、消耗品など、希望する物品を掲載しております。



CFAの活動を知る

私たちの活動を知っていただくことも力になります。ぜひフォローをよろしくお願いいたします。

Facebook



X (旧Twitter)



Instagram





特定非営利活動法人 Chance For All
 〒123-0852 東京都足立区関原3-15-4
 E-mail: info@chance-for-all.org
 Website: chance-for-all.org

この10周年記念誌のデザインは、インクデザイン株式会社様にご担当いただきました。
 いつもステキなデザインを本当にありがとうございます。

